

教科指導法(図画工作)

科目ナンバリング ESS-310
選択 2単位

大櫃 重剛

1. 授業の概要(ねらい)

図画工作科の授業は、小学校の教育課程の中で、次に示す目標を掲げ、位置付けられている。

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などに豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。

(2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3)つくridas喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

(『小学校学習指導要領解説 図画工作編』文部科学省、平成29年)

本授業では、図画工作科を通して培う資質・能力の3つの柱に即し、授業構成の中心となる「題材」を実際に体験しながら、その目標、内容、方法、教師のあり方などについて関連付け、教科指導に関する理解を深めていく。また、造形活動の基本的な原理である「材料・場所」「操作」「イメージ」の視点から把握しながら、より深い題材理解をうながしていきたいと考えている。

授業では、『学習指導要領』に基づいた内容を、自らが、児童の立場に立って、製作・体験し、味わいながら、学習を進める。各自、授業実践についての「ポートフォリオ」を作成し、リフレクションしながら、教科の指導力を高めたいと考える。

2. 授業の到達目標

・図画工作科における基礎的な知識・技能を身に付ける。

・各種題材の製作を通して、自分なりの造形表現や鑑賞活動を行ったり、模擬授業などを行ったりして、実践的な指導力を身に付ける。

・グループワークで議論を深め、発表できる。

・学習内容を「ポートフォリオ」にまとめ、リフレクションしながら活動できる。

・図画工作の特性に応じた情報機器の活用を含む。

3. 成績評価の方法および基準

①「ポートフォリオ」作成と提出。60 %

・配布資料を適切に保管し読み、活用しているか。

・学習内容や活動を記録し明示しているか。

・学習内容や活動への自分の考察をワークシート等を書いて、まとめているか。

・学習内容や活動を、内容に合わせて美的にデザインし、まとめているか。

②主体的な表現活動と鑑賞活動、及び、グループワークの話し合いと発表。20%

③授業への関心・意欲・態度。20%

…以上の観点から総合的に判断する。

4. 教科書・参考文献

教科書

帝京大学初等教育研究会編 『小学校教師の専門性育成』 現代図書、2020年。

参考文献

日本造形教育研究会(代表者:佐々木達行、北澤俊之、小嶋成夫、小林貴史、立川泰史、石賀直之。著作者:大櫃重剛他)。『文部科学省検定小学校図画工作教科書(2020年度版)』 開隆堂出版株式会社。

文部科学省。『小学校学習指導要領解説 図画工作編』(平成29年度版) 日本文芸出版株式会社。

5. 準備学修の内容

○「ポートフォリオ」は、各自、写真等を印刷し、配布資料とともに、所定のスケッチブックに作成します。

○「ポートフォリオ」の作成は、毎回の授業ごとに振り返りながら作成してください。

○授業で紹介した「展覧会」「児童作品展」「造形教育関係の施設」などに足を運び、鑑賞したり、見学したりするなど、造形教育への見聞を高めてください。

6. その他履修上の注意事項

○児童の気持ちや視線をもって授業を体験するとともに、習得した知識や技能を自分なら教育活動にどのように活用するかイメージしながら受講してください。

○実技を中心とした授業です。のびのびと活動するために、汚れてもよい服装や材料、用具などの準備があることに留意してください。

○進度や理解等によって、進行内容を変更する場合がありますので、留意ください。

7. 授業内容

【第1回】 ・オリエンテーション(「授業の目標、内容、方法、評価」や「受講するにあたっての諸注意」など)。

【第2回】 ・図画工作科の目標と授業の構造、及び学習評価と、育成する資質・能力との関連について学ぶ。

【第3回】 ・「造形遊びの活動と育成する資質・能力」(身体感覚や材料・場所を生かした造形活動)について学ぶ。

【第4回】 ・「絵に表す活動と育成する資質・能力」①(材料、操作を基にした造形活動)について学ぶ。

【第5回】 ・「絵に表す活動と育成する資質・能力」②(モダンテクニックによる造形活動)について学ぶ。

【第6回】 ・「絵に表す活動(版表現)と育成する資質・能力」③(様々な版による表現)について学ぶ。

【第7回】 ・「絵に表す(版表現)と育成する資質・能力」④(木版による表現)について学ぶ。

【第8回】 ・「立体に表す活動と育成する資質・能力」①(粘土を主材料にした造形活動)について学ぶ。

【第9回】 ・「立体に表す活動と育成する資質・能力」②(人工材や針金などを基にした造形活動、用具の安全な活用)について学ぶ。

【第10回】 ・「工作に表す活動と育成する資質・能力」(仕組みや用途などを基にした造形活動)について学ぶ。

【第11回】 ・「鑑賞の活動と育成する資質・能力」(鑑賞と表現の一体化、カードを活用した鑑賞、対話型鑑賞など)について学ぶ。

- 【第12回】 ・「題材設定と育成する資質・能力及び、学習評価」(友人とかかわりながらグループで題材を検討し発表する)について学ぶ。
- 【第13回】 ・模擬授業、及び、指導計画案の作成と発表を行う。
- 【第14回】 ・個々の授業内容のまとめと「ポートフォリオ」作成を行う。
- 【第15回】 ・学習のまとめ(授業の総括と「ポートフォリオ」の提出)。